

令和8年度沖縄県の「企業版ふるさと納税」寄附募集事業

01.教育・若者支援

- ・スクールカウンセラー配置事業
- ・離島児童生徒支援センター一般管理運営費
- ・県立学校日本語支援事業
- ・高校生問題行動等防止推進事業
- ・離島高校生修学支援事業
- ・スポーツ振興事業費、青少年文化活動事業費
- ・県外進学大学生支援事業

02.医療・福祉・健康

- ・看護師等修学資金貸与事業
- ・超高齢社会に対する地域つながり・支え合い推進事業
- ・薬剤師確保対策モデル事業
- ・職場の健康力アップ推進事業
- ・自殺対策強化事業
- ・離島高校生等に対する介護研修事業

03.産業・文化・交流

- ・沖縄イノベーション・エコシステム共同研究推進事業
- ・競技力維持・向上対策事業
- ・第8回世界のウチナーンチュ大会事業
- ・スポーツ観光誘客促進事業
- ・アントレプレナーシップ養成事業
- ・スポーツコンベンション誘致戦略推進事業
- ・多文化共生推進事業
- ・ソーシャルスタートアップ成長支援事業
- ・チームグクルでつなぐ文化芸術振興基金事業
- ・外国青年誘致事業

04.地域・環境・基盤

- ・気候変動適応策推進事業
- ・新たな公共交通システム導入促進事業
- ・地球温暖化対策等事業
- ・体育施設整備事業
- ・シームレスな陸上交通体系構築事業
- ・SDGs推進事業

スクールカウンセラー配置事業

生徒の不登校、いじめその他の問題行動を未然に防止し、早期に発見・解決するため、高度な専門資格を有するスクールカウンセラー（SC）を全県立高校へ計画的に配置し、健全な学校生活を支えます。

不登校・いじめの根本解決を促し、生徒の「心の健康」を守るとともに、教職員・保護者も含めた周囲全体のウェルビーイングを強力にサポートします。

SCと教職員の情報連携による校内研修や相談体制の強化を通じ、経済的・環境的な不安から生じるドロップアウトを未然に防ぎ、学ぶ権利を守ります。

いじめや虐待の初期サインを迅速かつ適正に発見。自他の生命を尊重する豊かな心を育み、いじめや差別のない平和な学校づくりに貢献します。



計画における施策展開

【基本施策1】

結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組



高校生問題行動等防止推進事業

・高校生が実行委員となる「ちゅらマナープロジェクト」を立ち上げ、問題行動防止に関するプラットフォームの運営を行います。
・フォーラムでは、講師による基調講演や実行委員のプレゼンテーション、保護者代表、警察関係者等を招いてのパネルディスカッションを行います。
・高校生の視点で作成したハンドブックを、全ての県立高校生へ配布する。
令和7年度は、「平和と対話」をテーマとして制作しました。



計画における施策展開

【基本施策1】

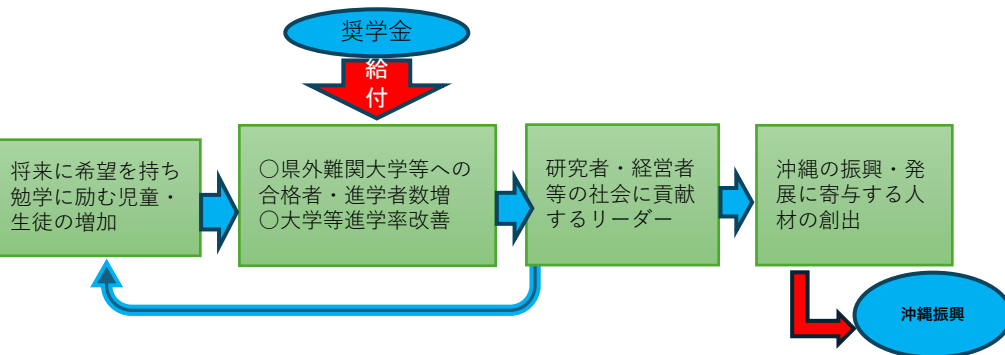
結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組



県外進学大学生支援事業

能力があるにもかかわらず経済的な理由で県外進学が困難な生徒に対し給付型奨学金を支給し、難関大学等への進学を促進します。

大学等進学率の改善を図るとともに、将来の本県を背負うリーダー人材を育成します。



計画における施策展開

【基本施策1】

結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組



離島児童生徒支援センター一般管理運営費

高校未設置離島出身者の経済的負担の軽減を図るとともに、離島振興に資するため、高校を進学する際の生徒の学生寮としての機能、及び小・中・高校生の交流機能を併せ持つ、「離島児童生徒支援センター（通称：群星寮）」を管理運営します。

沖縄本島の高校に進学



沖縄県

高校未設置離島出身者の経済的負担の軽減を図り、安心して高校に通うことができるよう、小中高校生の交流機能を併せ持つ学生寮を運営



高校未設置離島
(15市町村23離島)

計画における施策展開

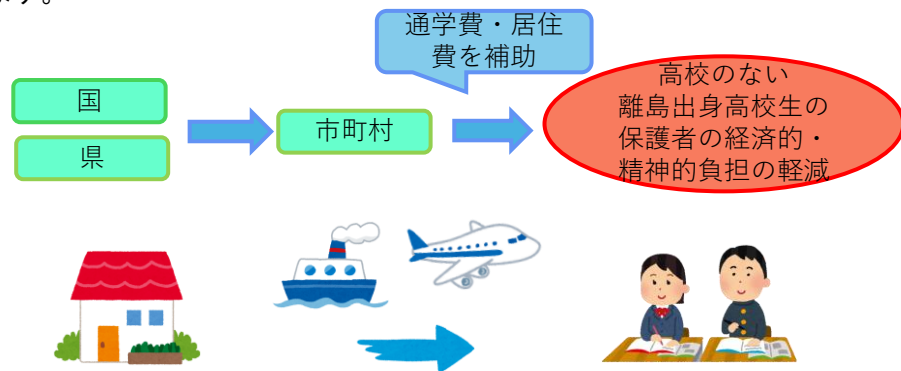
【基本施策1】

結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組



離島高校生修学支援事業

高校未設置離島出身の保護者の経済的・精神的負担を軽減するため、生徒の通学費や居住費に対する補助を実施し、居住地域に関わらず公平に学べる機会を確保します。



計画における施策展開

【基本施策4】

離島・過疎地域の潜在力を引き出す取組



スポーツ振興事業費、青少年文化活動事業費

中学生及び高校生の保護者の経済的負担の軽減及び公平な教育環境の確保を図ることを目的に、学校体育団体・文化団体が実施する大会参加に係る派遣費を補助します。

生徒の多様な活動機会を守り、夢の実現に向けて挑戦できる環境を支えます。



計画における施策展開

【基本施策1】

離島・過疎地域の潜在力を引き出す取組



県立学校日本語支援事業

①外国人児童生徒教育運営協議会の実施

外部機関と連携し、日本語指導が必要な生徒への効果的な指導法の構築と受入体制の充実を図ります。

②日本語指導支援員の派遣

コーディネーターが日本語指導が必要な生徒の支援計画を策定し、各校に配置される支援員が授業中の入り込み支援や取り出し支援を行います。

③母語支援員の派遣

三者面談等に保護者に対して進学・就職及び支援に関する連絡（ビザ等の手続きを含む）等を母語で行います。



計画における施策展開

【基本施策1】

結婚・出産・子育ての希望をかなえる取組



看護師等修学資金貸与事業

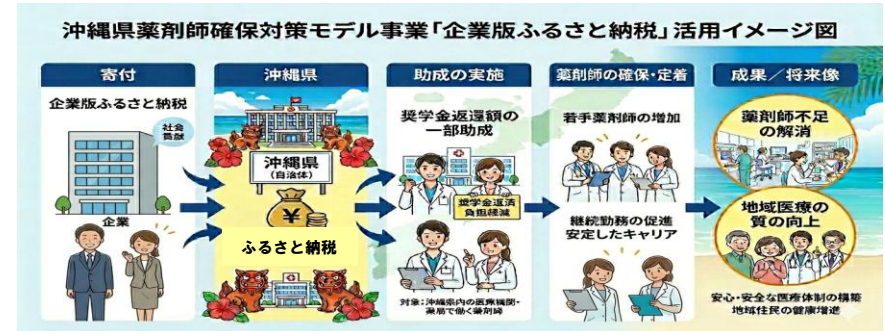
薬剤師確保対策モデル事業

本事業は、将来、県内で看護業務に従事する意思がある養成施設の学生および大学院修士課程の修学生を対象に資金の貸与及び返還免除を行い、沖縄県内における看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）の確保と質の向上を目的としています。

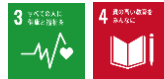


本事業は、県内で就業する薬剤師の増加・定着を目的に、奨学金返還予定の薬学生又は返還中の県外勤務の薬剤師に対し、県内就業を条件として奨学金返還額の一部を補助し、沖縄県内で就業する薬剤師を確保する事業を行っています。

薬剤師不足を解消し、地域医療の質向上と安定した医療提供体制の構築を推進します。



計画における施策展開
【横断的な施策】
魅力的な地域をつくる取組



計画における施策展開
【基本施策3】
魅力的な地域をつくる取組



自殺対策強化事業

超高齢社会に対する地域つながり・支え合い推進事業

自殺を誰にでも身近な問題として認識し、沖縄県では相談窓口の設置及び周知、専門性の有無によらないゲートキーパーの養成、自殺対策に携わる人材養成のための事業等に取り組んでいます。

ビジネスとケアと地域が交差する未来のまちづくりを進めます

自殺対策基本法が制定されて20年が経ち、対策を進める中で300人を超えていた沖縄県の自殺者数は、年々減少しているものの、200人を超える状況です。
誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して、各地域における更なる対策の推進につなげていきます。



ツドレバは、企業・団体・地域の人々が手を取り合い、高齢者を含む全ての世代が輝くゆんたく（語らい）あふれる未来へ歩む“共創の場”です。
“人づくり・事業づくり・仕組みづくり”の枠組みを広げ、地域全体を支え合いのフィールドへ変化させ、なじみの地域でいつまでも暮らせる社会を目指します。
多様な主体が連携・協働して、高齢者を支援するための試行的な取組（トライアル）への支援を行っています。
ぜひ皆様からの温かいご支援をよろしくお願いいたします。



計画における施策展開
【基本施策3】
魅力的な地域をつくる取組



計画における施策展開
【基本施策3】
魅力的な地域をつくる取組



職場の健康力アップ推進事業

沖縄県の平均寿命は、1985年の男女全国1位から令和2年の男性43位、女性16位まで下がり、また、働き盛り世代の年齢調整死亡率が高く、少子高齢化と早世により、2023年には総人口が減少に転じました。

本事業は職場の健康問題・環境に合わせ、ヒアリングによる実践計画の作成、健康経営及びウェルネスセミナー等の開催、支援後のフォローアップ等、実施体制の構築を含めた健康づくりを支援し、継続的かつ自主的な取組となるよう導きます。



計画における施策展開
【基本施策3】
魅力的な地域をつくる取組



離島高校生等に対する介護研修事業

県全体でも介護人材の確保は課題となっておりますが、特に離島地域においては、島内での研修機会が少なく、介護人材の確保が困難となっています。

そこで、本事業では、

1. 県立高校がある離島(宮古島、石垣島、久米島)での介護職員初任者研修を実施します。
2. 介護の仕事に関する案内、マッチングを行います。



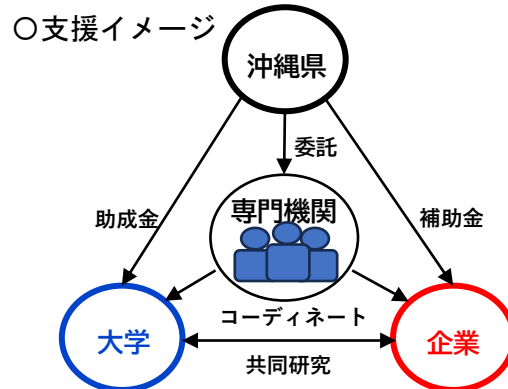
計画における施策展開
【基本施策2】
人の流れとしごとをつくる取組



沖縄イノベーション・エコシステム共同研究推進事業

沖縄科学技術大学院大学（OIST）や琉球大学など、県内大学との研究成果を活用した「イノベーション・エコシステム」の構築を目指します。

- 【支援内容】
- ・大学等と企業が取り組む共同研究に対し、基礎研究から事業化研究に至るまで、切れ目のない支援を行います。
 - ・専門のコーディネーターを配置し、大学のシーズと企業ニーズのマッチング、研究マネジメントや技術経営（MOT）に関する助言等を行います。



スポーツコンベンション誘致戦略推進事業

沖縄県の温暖な気候や自然環境、アジアに近接する地理的優位性などを活かし、国内外の大会・リーグ戦等のスポーツコンベンションを戦略的に誘致することで、交流人口の拡大、観光消費額の増加、スポーツ産業の振興及び地域経済の活性化を図ります。

また、大会開催を契機に県内競技団体と連携した競技普及、人材育成及び競技力向上に取り組み、その成果を県全域へ波及させる持続可能なスポーツコンベンションの推進を目指しています。



計画における施策展開

【基本施策2】
人の流れとしごとをつくる取組



計画における施策展開

【基本施策2】
人の流れとしごとをつくる取組



チムグクルでつなぐ文化芸術振興基金事業

沖縄県文化芸術振興基金を活用し、本県の文化振興を図るため、人材育成及び文化芸術活動の充実に要する取組を実施します。

主な取組として、沖縄の新たな演劇作品の創造を通して若手担い手を育成するプログラム「ART LAB OKINAWAプロジェクト」、県内の文化芸術団体が行う公園や展覧会など文化芸術に関する複数年の取組に対する支援に取り組んでいます。



競技力維持・向上対策事業

国民スポーツ大会をはじめとする全国大会等における本県トップレベルの競技者の活躍を促し、競技力の維持と向上につながる各種競技団体の取り組みを支援することで、県代表選手の活躍とともに県民生活の活性化に寄与する為、沖縄県スポーツ協会へ事業の補助を行っています。



計画における施策展開

【基本施策3】
魅力的な地域をつくる取組



計画における施策展開

【基本施策3】
魅力的な地域をつくる取組



スポーツ観光誘客促進事業

沖縄県の年間を通じて温暖な気候とスポーツ資源を活用したスポーツツーリズムの普及、定着を図るため、「みるスポーツ」「するスポーツ」の両方を県外・国外においてプロモーションすることで、本県へのスポーツ観光誘客を促進し、スポーツを通じた沖縄振興を図っています。

プロモーションの様子

大邱国際マラソン2026（韓国）



EASL 2025-26 SEASON（台北）



多文化共生推進事業

在留外国人の地域社会参画への支援、各種相談の実施等により在住外国人等が住みやすい地域づくりに取り組みます。

具体的には、外国人相談窓口の強化や日本語教育の推進など、市町村や民間団体等と連携し取組を推進します。



←外国人相談窓口のパンフレット

計画における施策展開
【基本施策3】
魅力的な地域をつくる取組



計画における施策展開
【基本施策2】
人の流れとしごとをつくる取組



外国青年招致事業

沖縄県では国際交流の促進に向けて、外国青年を国際交流員として招致しています。県民との交流・教育交流を通じて互いの文化や過剰への理解を深め、地域における異文化理解や国際理解を推進します。



図書館での絵本読み聞かせ



小学校での出前事業

第8回世界のウチナーンチュ大会事業

沖縄にルーツを持つ沖縄県系人や沖縄に縁のある皆様が、世界中から沖縄に集まる「世界のウチナーンチュ大会」を2027年10月に開催します。様々なイベントを通じて持続的な国際交流を実践し、ウチナーネットワークを次世代へ継承するとともに、沖縄の歴史、文化等の持つ魅力をソフトパワーとして世界へ発信します。



前夜祭パレード

県人会長・ウチナー民間大使会議



グランドフィナーレ

計画における施策展開
【基本施策2】
人の流れとしごとをつくる取組



計画における施策展開
【基本施策2】
人の流れとしごとをつくる取組



アントレプレナーシップ養成事業（沖縄発！アントレプレナーシップ・エコシステム形成プロジェクト）

子どもたちには可能性がある。
しかし、挑戦できる場にアクセスできずにいる子どもたちが、沖縄にはたくさんいます。

私たちは17年間、その現実と向き合ってきました。琉球frogsで学生を育て、LEAP DAYで4,000名が集まる場をつくり、LEAPERプログラムで200名の高校生が原体験を得る—それでもまだ、届いていない子どもたちがいます。

交通費が支払えない、離島から出られない、情報が届かない。才能も熱量もある。

ただ、チャンスとの距離が遠いだけです。本プロジェクトでは、寄附を活用し、経済的・地理的な事情等により挑戦の機会を得にくい子どもたちにも、アントレプレナーシップを学ぶ機会を届けることを目指します。



寄付お申し込み受付中

ソーシャルスタートアップ成長支援事業（寄附を活用して農家・食支援・企業をつなぐ新しい仕組みを育てたい）

沖縄では、まだ食べられる規格外・余剰農産物が行き場を失う一方で、子ども食堂やフードバンクでは食材や運営資金が不足しています。

また、社会貢献したい企業があっても、支援先や成果が見えにくいという課題があります。

本プロジェクトでは、寄附を活用して農家・食支援団体・企業をつなぐ新しい仕組みを構築します。農家への適正な対価の支払い、食支援団体への安定供給に加え、取組による成果を分かりやすく発信し、「食品ロス削減」「農家支援」「子どもの未来支援」を持続可能なたちでつなぐモデルを沖縄から創り上げます。



計画における施策展開
【基本施策3】
魅力的な地域をつくる取組



ソーシャルスタートアップ成長支援事業（演劇の力で、次の世代に平和な社会をつないでいく～「ピースシアター」ロングラン公演～

沖縄戦を題材とした平和劇を上演しており、当時11歳だった大城勇一さんの証言を元に、沖縄県南部のガマ（自然の洞窟）で起きた出来事を作品にしました。

戦後80年余りが経過し、戦争体験者から直接体験を聞く機会が少なくなる中、持続的な平和学習の場を構築するために「ピースシアター」の普及に努めます。



※ピースシアター：演劇の力を活かし、ワークショップと組み合わせることで「平和」を自分ごととして考えるプログラム



計画における施策展開
【基本施策2】
人の流れとしごとをつくる取組



計画における施策展開
【基本施策2】
人の流れとしごとをつくる取組



気候変動適応策推進事業

気候変動によって現在生じている影響及び将来予測される被害の防止・軽減を図るため、県内外の気候変動影響や適応策に関する情報収集を行うとともに、環境イベント、ホームページ等を活用して県民、事業者等へ府普及啓発を行います。



【参考】令和7年度県民環境フェアでの普及啓発の様子

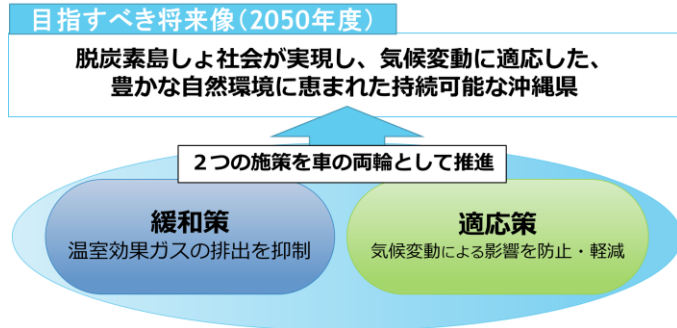
計画における施策展開
【基本施策3】
魅力的な地域をつくる取組



地球温暖化対策等事業

地球温暖化防止に関する各種事業を推進するとともに、県民への意識啓発を図ります。

また、温室効果ガスの排出実態及び各取組状況等を取りまとめ、温暖化対策の評価及び今後の施策展開を検討します。



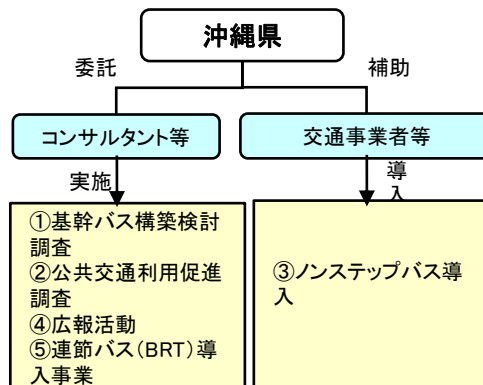
計画における施策展開
【基本施策3】
魅力的な地域をつくる取組



シームレスな陸上交通体系構築事業

慢性的な交通渋滞の緩和などに向けて、自家用車から公共交通への利用転換を促進させるため、公共交通の利用環境の改善を図り、シームレスな陸上交通体系構築に向けた取り組みを実施します。

- シームレスな陸上交通体系の構築
 - ①基幹バスシステム構築に向けた調査検討
 - ②公共交通利用促進に向けた調査検討
 - ⑤連節バス(BRT)導入事業
- 物理的にシームレスな環境の構築
 - ③ノンステップバス導入補助
- 心理的にシームレスな環境の構築
 - ④公共交通の利用促進に関する広報活動

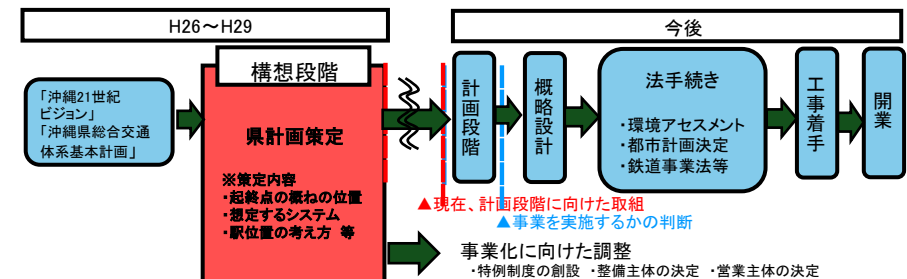


計画における施策展開
【基本施策3】
魅力的な地域をつくる取組



新たな公共交通システム導入促進事業

県土の均衡ある発展、県民及び観光客の移動利便性の向上、中南部都市圏における交通渋滞の緩和、世界水準の観光リゾート地の形成、駐留軍用地跡地の活性化、低炭素社会の実現などを図る観点から、那覇～名護を1時間で結ぶ鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入に向けた調査・検討を行うことを目的としています。



計画における施策展開
【基本施策2】
人の流れとしごとをつくる取組



体育施設整備事業

スポーツ・レクリエーション活動の場を確保するため、社会体育施設の補修維持管理、改築・改修、施設備品の購入等を実施しています。

施設の老朽化や暑熱環境の課題に対応するため、施設の改築を行い、利用者の利便性向上を目指します。



奥武山庭球場管理棟



自転車競技場管理棟

奥武山公園
クライミングウォール



計画における施策展開
【基本施策3】
魅力的な地域をつくる取組



SDGs推進事業

行政・企業・団体・個人が参画する「おきなわSDGsプラットフォーム」の運営、ポータルサイトを活用したSDGsに関する取組発信等を通じ、SDGsの普及啓発や企業・団体等の交流及び連携を促進しています。

また、地域課題の解決を目指すことを目的としたプロジェクトチームの創出支援等を行うことでSDGsの取組の活性化を図っています。

	共有	情報発信 情報検索 メルマガやSNS配信等による情報共有	・ 会員による投稿 ・事務局による取材 HP掲載、ラジオ ・メルマガ配信(月2)
	交流・連携	会員間の自主的な交流 コーディネーターによる連携支援 交流イベントの開催	・交流イベントの開催 企業×学生交流 認証団体交流会 など ・SDGsプロジェクトチーム
	支援	取組への助言、支援 セミナー、イベントの開催 会員が行う後援	・相談窓口の設置 ・セミナー、イベントの開催 ・ 県民参加型イベント ・県等による後援

計画における施策展開
【横断的な施策】
持続可能な地方創生を推進する取組

